

様々なニーズに応える便利なサービス ～小規模多機能型居宅介護～

【小規模多機能型居宅介護】

「通い」を中心として、要介護者の様態や希望に応じて、随時「訪問」(24時間365日対応)や「泊まり」を組み合わせることで、在宅生活の継続を支援します。住み慣れた地域で、馴染みのスタッフが各種サービスを組み合わせ、ご家族・ご自身の生活リズム・生活能力が維持できるようケアします。

【人員配置】

- ・管理者
- ・介護支援専門員
- ・介護従事者

【利用定員】

- ・登録定員：25人以下
- ・「通い」：登録定員の1/2から15人
- ・「泊まり」：「通い」定員の1/3から9人


【介護サービス利用料】

※利用者負担額（月あたり定額）


・要介護1	11,808円	・要支援1	4,617円
・要介護2	16,864円	・要支援2	8,259円
・要介護3	24,055円		
・要介護4	26,442円	※その他の費用として、食費代、	
・要介護5	29,048円	宿泊代、おむつ代等が発生	
		します。	

【主な設備】

- ・居間
- ・食堂
- ・宿泊室（居間を仕切って確保する場合あり）
- ・台所
- ・浴室




宿泊




通い

小規模多機能型居宅介護



訪問



「通い」を中心として、利用者の様態や希望に応じて、「訪問」や「泊まり」を組み合わせるサービスを提供します。

【利用例】

	利用者の状況（サービス利用前）	サービス内容
A様	70代男性で、要介護3、独居で認知症。度々徘徊を繰り返していた。	通い 週5日 月～金曜日 10～19時利用（夕食後帰宅） 訪問 週5日 月～金曜日 19時から（室内清掃）
B様	80代男性で息子と二人暮らし。認知症で暴力・暴言あり。息子の介護疲れにより支援開始。	訪問 週5日 月～金曜日 服薬管理 通い 訪問の朝、お誘いし気分が乗ったとき 宿泊 息子が入院した際等
C様	60代男性で奥様と二人暮らし。奥様の介護以外は拒否。奥様が体調を崩されたため、支援開始。	通い 週4日 火、水、木、土曜日 宿泊 週2日 火、水曜日の通い後そのまま宿泊。 （火曜日の朝お迎えし、木曜日夕方にお送り。） 訪問 随時（ベッド・車いすからの転落時）

↓ 改善効果！！

	利用者の状況（サービス利用後）
A様	・食生活が安定し、生活のリズムが作れるようになり、心身の状態が良くなった。 ・通いサービスの延長利用により、徘徊がなくなった。
B様	・通いサービスに参加することで、人と接することが多くなり、精神的に落ち着いてきた。 ・訪問による服薬管理で、薬の飲み忘れがなくなった。
C様	・徐々にスタッフの介護も受け入れるようになり、他利用者とのつながりができた。 ・定期的な宿泊により、奥様の介護負担が軽減された。